

市長就任の ごあいさつ

八幡平市長
たむらまさひこ
田村正彦



この度、新生八幡平市の初代市長として、市政を担当することとなりました。身に余る光栄であり、重責に身の引き締まる思いです。これから4年間、市政執行の責任者として、市民の皆さまの期待に応えるべく全身全霊を尽くし、公正で公平な政治信条のもとに効率的な行政運営に心掛け、誕生間もない八幡平市に種をまき、花を咲かせ、しっかりとした実を实らせるがごとく、市勢発展のため、情熱と挑戦の精神をもって、全力で取り組んでいく所存です。

今、わが国は新たな変革の時代に入っているとわれています。まさに、成熟期を迎え、急激な少子高齢化や国際化、目覚ましい変化を遂げる高度情報化、さらには国、地方を問わず未曾有の財政難の中、地方再生のための「平成の大合併」のもとに、旧西根町、旧松尾村、旧安代町は、平成15年6月から2年余

の歳月をかけて延べ23回に及ぶ任意・法定合併協議会での協議を経て、それぞれの町村の持つ歴史や風土、地域社会、文化を尊重し、そして、住民サービスの違いなどの調整を図り、住民、議会、行政が相互の信頼と互譲の精神のもとに合併という手段で新たな自治体として住民の幸せを築き上げていくことを選択しました。

合併はゴールではなく、新しいまちづくりのための手段であり、スタートであります。今まさに、そのスタート地点に立っています。新市の建設は決して平坦な道のりばかりではありません。選挙公約と新市建設計画の整合性を図りながら、実現に向けて努力していくことが、与えられた使命であると認識しています。早速取り組みなければならぬ行財政改革や産業の振興、少子高齢化対策をはじめとする多くの課題が

山積しています。しかし、臆することなく市民の皆さまのご意見・ご提言をいただきながら、全力を傾注してまいります。合併を期に市民の暮らしが、旧3町村の一体感のもとに充実し、「合併してよかった。このまちに住んでよかった。八幡平市民でよかった」と実感できる、誇りを持てるまちづくりをしていきたいと考えております。

実り豊かな大地と美しい自然、恵まれた環境の中で、輝かしい八幡平市へ発展していくためには、今日を生きるわたしたち市民一人ひとりが自分たちの手で、希望を形にしようとする強い意思と目標に向けた行動力にかかっています。活力ある八幡平市をつくり出すために、誠心誠意取り組み、まいる所存ですので、皆さまの深いご理解と力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

田村正彦初代市長 さつそうと初登庁



花束を受け取り、初登庁する田村市長

八幡平市長選挙執行日翌日の10月3日、田村正彦市長が初登庁し、職員の出迎えを受けました。

市長当選証書授与式では、佐々木清治市選挙管理委員会委員長から当選証書を受け取り、新生八幡平市の舵取りを担う重責を全うする決意を新



早速、事務の引継ぎが行われました

たにしました。

この後、田村市長は佐々木正四郎市長職務執行者と事務引き継ぎを行い、西根、松尾、安代3地区の均衡ある発展について、会談しました。

田村市長は市長訓示で職員を前に「新市建設計画の整合性を図りながら、着実に市政を進めたい。皆さんと一緒に市の建設に向けて頑張りたい」と述べました。

佐々木職務執行者 任期を満了し退任

佐々木市長職務執行者が9月1日から10月2日までの任期を終え退任しました。退任式は任期満了日前の最後の平日である9月30日に行われ、「八幡平市は船出を始めた大切な時期です。素晴らしい市をつくり上げるため、体に気を付けながら頑張ってほしい」と職員をねぎらいました。



9月30日、職員に見送られながら退任する佐々木市長職務執行者